

週間感染症情報

2026年15週～16週 2026年4月6日より2026年4月19日まで

15週 16週

麻疹	0	0
風疹	0	0
水痘(みずぼうそう)	1	0
ムンプス(おたふくかぜ)	0	0
百日咳	0	0
溶連菌感染症	3	3
手足口病	1	1
ヘルパンギーナ	0	1
伝染性紅斑	0	0
感染性胃腸炎	47	42
ロタウイルス(再掲)	2	1
ノロウイルス(再掲)	2	0
便アデノウイルス(再掲)	0	0
突発性発疹	3	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	4	0
ヘルペス性口内炎	2	0
アデノウイルス感染症	0	0
RSウイルス感染症	3	3
マイコプラズマ感染症	3	0
ヒトメタニューモウイルス	3	3
インフルエンザ	13	22
インフルエンザ A	0	0
インフルエンザ B	9	17
新型コロナウイルス感染症	1	0

2週間分の報告です。インフルエンザ(右下のグラフ)は、A型の後にB型の流行があり春休みに入りほぼ終息しました。新型コロナウイルスの報告は15週の入院1例のみです。介護施設等でのクラスターはあるようですので、発熱患者への対応は必要です。RSウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症が増加しています。これに関連して喘息発作の悪化例も増加しています。

右のグラフは麻疹の報告数の推移です。麻疹は感染力が強く、特別な治療法はありません。高熱が1週間続き、肺炎など合併症を起こし、現在でも1000人に一人は亡くなります。2025年より海外からの持ち込み例が増えて、2026年は15週までに299例と急増しています。また、愛知の高校、東京の小学校の集団発症(18人)があり、ニュースで話題になりました。

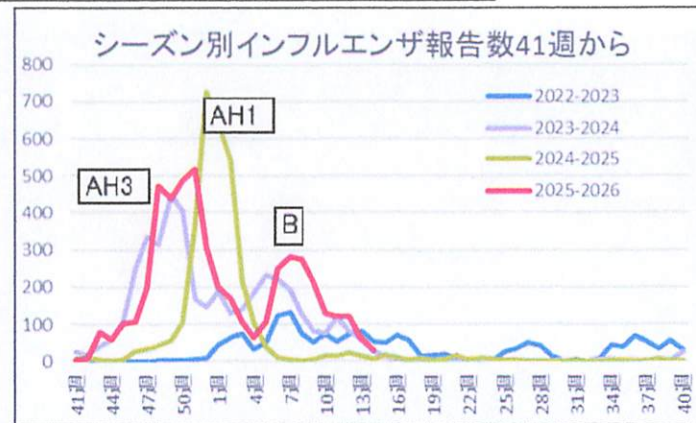
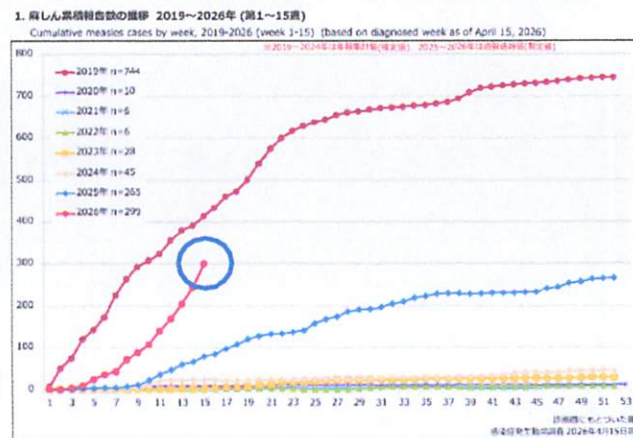
麻疹はワクチンで予防できる病気です。接種歴を確認しましょう。

1歳と年長になったら、すぐにMRワクチンを接種しましょう。

2回の接種歴があれば、まずり患しません。自施設関係者のワクチン接種歴抗体価を確認して、必要な場合はワクチン接種を勧めましょう。

感染性胃腸炎(左下のグラフ)は、冬場の流行はありませんでした。市内小学校でロタウイルス胃腸炎の流行がありました。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染症情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)